

〈令和5年度入学生用〉

(ア) 地域創生学部

a 地域創生学科地域文化コース

○ 本学の課程における教科及び教科の指導法に関する科目対応表

・ 中学校英語、高等学校英語

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期※	
英語学	○英語学	2	2	後・前	
	英語音声学	2	2	後・前	
	英語学研究	2	3	前・前	
	英文法	2	3	前・前	
英語文学	○英語文学論	2	2	後・後	
	英米文化史論	2	2	後・前	
	英語文学論研究	2	3	後・前	
英語コミュニケーション	英語表現論	2	2	後・後	
	○英語コミュニケーション	2	2	後・後	
	メディア・イングリッシュ	2	2	後・前	
	英語表現論研究	2	3	前・後	
	ディベート・プレゼンテーション	2	3	後・前	
	上級英語総合(Cross-Cultural Studies)	1	2	前・前	
	上級英語総合(Seminer)	1	2	後・前	
	上級英語表現(Presentation I)	1	2	前・後	
上級英語表現(Presentation II)	1	2	後・後		
異文化理解	英国社会文化論	2	2	後・前	
	○米国社会文化論	2	2	後・後	
	英国社会文化論研究	2	3	前・前	
	米国社会文化論研究	2	3	前・後	
各教科の指導法	○英語科教育法Ⅰ	2	2	後・後	
	○英語科教育法Ⅱ	2	3	前・前	
	○英語科教育法Ⅲ	2	3	前・後	
	○英語科教育法Ⅳ	2	3	後・前	

※ 開講期欄の表記については、「前期」「後期」・「前半」「後半」を示す。以下同じ。(例:「前・後」=前期後半=第2クォーター)

※ 中学校免許では計28単位以上を、高等学校免許では計24単位以上を修得すること。

・ 中学校国語・高等学校国語

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
国語学 (音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	○日本語文化論(日本語学)	2	2	後・前	
	○日本語音声学	2	2	後・後	
	中日対照言語学	2	2	後・前	
	○日本語文化論研究	2	3	前・前	
国文学 (国文学史を含む。)	日本文化論	2	2	後・後	
	○日本文学論(国文学)	2	2	後・前	
	○日本語表象論	2	2	後・後	
	日本文化論研究	2	3	前・前	
	日本文学論研究	2	3	前・後	
漢文学	○東アジア文学論(中国文学)	2	2	後・前	
	日中比較文学論	2	2	後・後	
	東アジア文学論研究	2	3	前・前	
書道(書写を中心とする。)	○書道・書写	2	2	後・前	中学校教免のみ必修
各教科の指導法	○国語科教育法Ⅰ	2	2	後・後	
	○国語科教育法Ⅱ	2	3	前・前	
	○国語科教育法Ⅲ	2	3	前・後	
	○国語科教育法Ⅳ	2	3	後・前	

※ 中学校免許では計28単位以上を、高等学校免許では計24単位以上を修得すること。

※ 書道(書写を中心とする。)は、中学一種のみ対象となる科目区分であり、書道・書写の単位は、中学一種では教科に関する科目の必修単位となるが、高校一種では教科に関する科目の単位にも選択科目の単位にもならない。

○ 本学の課程における教育の基礎的理解に関する科目等対応表

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後・前	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後・後	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前・後	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前・前	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前・前	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前・後	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前・後	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前・後	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後・前	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○情報通信技術の活用	1	3	後・後	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後・後	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○教育相談	2	3	前・前	
教育実践に関する科目	・教育実習	○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	前期 前期 前期	中学校教免のみ必修
	・教職実践演習	○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験 人権論 道徳教育論	2 2 2	3 2~4 3	通年 後・後 前期	中学校教免のみ必修

※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前・後	
体育	○スポーツ実技Ⅰ	1	1	後期*	
	○保健体育理論	2	2	後・後	
外国語コミュニケーション	○英語総合Ⅰ	1	1	前期*	
	○英語総合Ⅱ	1	1	後期*	
情報機器の操作	○ICTリテラシーⅠ	1	1	前・前	
	○ICTリテラシーⅡ	1	1	後・前	

* クラスにより開講時期は異なる。前期の場合は前半（第1クォーター）もしくは後半（第2クォーター）のいずれかで、後期の場合は前半（第3クォーター）もしくは後半（第4クォーター）のいずれかで受講することになる。

b 地域創生学科健康科学コース

○ 本学の課程における栄養に係る教育に関する科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
・栄養教諭の役割及び職務内容に関する事項 ・幼児、児童及び生徒の栄養に係る課題に関する事項 ・食生活に関する歴史的及び文化的事項	○ 学校栄養教育論Ⅰ	2	3	前・前	
・食に関する指導の方法に関する事項	○ 学校栄養教育論Ⅱ	2	3	後・前	

○ 本学の課程における教育の基礎的理解等に関する科目対応表

・栄養

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後・前	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後・後	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前・後	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前・前	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前・前	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前・後	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前・前	
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前・後	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	前・後	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後・前	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒指導論	2	2	後期	
	・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	○教育相談	2	3	前・前	
教育実践に関する科目	・栄養教育実習	○教育実習指導（栄養教諭） ○教育実習（栄養教諭）	1 1	4 4	前・前 前・前	
	・教職実践演習（栄養教諭）	○教職実践演習（栄養教諭）	2	4	後・前	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導（栄養教諭）、教育実習（栄養教諭）、教職実践演習（栄養教諭））には履修要件が定められている。要件については、13免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

・栄養

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前・後	
体育	○健康スポーツ科学	2	1	前・後	
	○スポーツ科学実習	1	1	前・前	
外国語コミュニケーション	○英語総合Ⅰ	1	1	前期*	
	○英語総合Ⅱ	1	1	後期*	
情報機器の操作	○ICTリテラシーⅠ	1	1	前・前	
	○ICTリテラシーⅡ	1	1	後・前	

* クラスにより開講時期は異なる。前期の場合は前半（第1クォーター）もしくは後半（第2クォーター）のいずれかで、後期の場合は前半（第3クォーター）もしくは後半（第4クォーター）のいずれかで受講することになる。

(イ) 生物資源科学部

○ 本学の課程における教科及び教科の指導法に関する科目対応表

a 地域資源開発学科

・高等学校農業

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教必修科目	単位数	配当年次	開講期	
農業の関係科目	資源植物学	2	2	後期	
	○基礎園芸学	2	2	前・前	
	植物発生制御学	2	3	前期	
	○食品分析学Ⅰ	2	2	前・後	
	農業マーケティング論	2	2	後・後	
	○畜産学概論	2	2	後・前	
	○農業環境制御学	2	3	前・前	
	総合防除管理学	2	3	前・前	
	植物組織培養学	2	3	前・前	
	植物病理学	2	3	前・前	
	○野菜園芸学	2	3	前・後	
	○果樹園芸学	2	3	前・後	
	食品化学	2	3	前・前	
	発酵工学	2	3	後・前	
	食品リサイクル学	2	3	後・後	
	○食品加工学	2	3	前・後	
	機能性食品工学	2	3	後・後	
	○フードシステムマネジメント	2	3	前・後	
	アグリツーリズム論	2	3	前・後	
職業指導	○職業指導	2	2	後期	
各教科の指導法	○農業科教育法Ⅰ	2	3	前期	
	○農業科教育法Ⅱ	2	3	後期	

※ 計24単位以上を修得すること。

b 生命環境学科

・中学校理科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
物理学	○物理学Ⅰ	2	1	前・前	
	○物理学Ⅱ	2	1	前・後	
物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	○物理学実験	1	2	前期	
化学	○化学Ⅰ	2	1	前・前	
	○化学Ⅱ	2	1	前・後	
	基礎分析化学	2	1	後・前	
	無機化学	2	1	後・後	
	有機化学	2	2	前・前	
	生物化学	2	2	前・前	
環境・無機分析化学	2	2	後・後		
化学実験（コンピュータ活用を含む。）	○化学実験(生命環境)	2	1	通年	
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前・前	
	○生物学Ⅱ	2	1	前・後	
	○生態学	2	1	前・後	
	植物生理学	2	2	前・前	
	遺伝学	2	1	後・前	
	生理学	2	2	後・前	
	免疫学	2	2	後・前	
	分子進化発生学	2	2	前・後	
	発生・生殖科学	2	3	前・前	
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	○生物学実験(生命環境)	2	1	通年	
地学	○地学	2	2	前・前	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	○地学実験	1	2	通年	
各教科の指導法	○理科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	○理科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	○理科教育法Ⅲ	2	3	後期	
	○理科教育法Ⅳ	2	3	後期	

※ 計30単位以上を修得すること。

・高等学校理科

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
物理学	○物理学Ⅰ	2	1	前・前	
	○物理学Ⅱ	2	1	前・後	
化学	○化学Ⅰ	2	1	前・前	
	○化学Ⅱ	2	1	前・後	
	基礎分析化学	2	1	後・前	
	無機化学	2	1	後・後	
	有機化学	2	2	前・前	
	生物化学	2	2	前・前	
環境・無機分析化学	2	2	後・後		
生物学	○生物学Ⅰ	2	1	前・前	
	○生物学Ⅱ	2	1	前・後	
	○生態学	2	1	前・後	
	植物生理学	2	2	前・前	
	遺伝学	2	1	後・前	
	生理学	2	2	後・前	
	免疫学	2	2	後・前	
	分子進化発生学	2	2	前・後	
	発生・生殖科学	2	3	前・前	
地学	○地学	2	2	前・前	
「物理学実験 （コンピュータ活用を含む。）、 化学実験 （コンピュータ活用を含む。）、 生物学実験 （コンピュータ活用を含む。）、 地学実験 （コンピュータ活用を含む。）」	物理学実験	1	2	前期	
	○化学実験(生命環境)	2	1	通年	
	○生物学実験(生命環境)	2	1	通年	
	地学実験	1	2	通年	
各教科の指導法	○理科教育法Ⅰ	2	2	後期	
	○理科教育法Ⅱ	2	3	前期	
	○理科教育法Ⅲ	2	3	後期	
	○理科教育法Ⅳ	2	3	後期	

※ 計28単位以上を修得すること。

○ 本学の課程における教育の基礎的理解等に関する科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目				備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
教育の基礎的理解に関する科目	・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	○教職入門	2	1	後・前	
	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後・後	
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前・後	
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	○教育社会学	2	2	前・前	
	・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	○教育課程論	2	2	前期	
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	3	前期	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	○道徳教育論	2	3	前期	中学校教免のみ対象
	・総合的な学習の時間の指導法	○総合的な学習の時間の指導法	2	3	前期	
	・特別活動の指導法	○特別活動論	2	3	後期	
	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	○教育方法学	2	3	後期	
	・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	○情報通信技術の活用	1	3	後・後	
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒・進路指導論	2	2	後期	
	・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	○教育相談	2	3	前・前	
教育実践に関する科目	・教育実習	○教育実習指導 ○教育実習Ⅰ ○教育実習Ⅱ	1 2 2	4 4 4	通年 通年 通年	中学校教免のみ必修
	・教職実践演習	○教職実践演習（中・高）	2	4	後期	

※ 教育実践に関する科目（教育実習指導、教育実習Ⅰ、教育実習Ⅱ、教職実践演習）には履修要件が定められている。要件については、1 3 取得できる免許等（2）教育職員免許エ（エ）を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
大学が独自に設定する科目	○介護等体験 人権論 道徳教育論	2 2 2	3 2・3・4 3	通年 後・後 前期	中学校教免のみ必修

※ 道徳教育論は、高校一種についてのみ対象の授業科目となる。

○ 本学の課程における日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1・2・3・4	前・後	
体育	○スポーツ実技Ⅰ	1	1	前・前	
	○保健体育理論	2	2	後・後	
外国語コミュニケーション	○英語総合Ⅰ	1	1	前・前	
	○英語総合Ⅱ	1	1	前・後	
情報機器の操作	○ICTリテラシーⅠ	1	1	前・前	
	○ICTリテラシーⅡ	1	1	後・前	

(ウ) 保健福祉学部

a 保健福祉学科看護学コース

○ 本学の課程における養護に係る教育に関する科目対応表

・養護

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目			備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次 開講期※	
衛生学・公衆衛生学 (予防医学を含む。)	○公衆衛生学	1	2	前・前 後 後・前
	○疫学	2	2	
	○医療安全学	1	2	
学校保健	○公衆衛生看護活動論Ⅱ (産業・学校)	2	3	前
養護概説	○養護概説	2	1	後
健康相談活動の理論・ 健康相談活動の方法	○学校健康相談	2	2	後
栄養学 (食品学を含む。)	○臨床栄養学	1	1	後・前 後・後
	○食と健康	2	1~4	
解剖学・生理学	○解剖学概論	1	1	前・前 後・前 前・後
	○解剖学 (看護特論)	1	1	
	○生理学概論	1	1	
「微生物学、免疫学、 薬理概論」	○微生物と人間	1	1	後・前 前
	○薬理学	1	2	
精神保健	○メンタルヘルズ看護論	1	2	前・前 後・前
	○精神看護方法論	1	2	
看護学 (臨床実習及び 救急処置を含む。)	○看護学概論	1	1	前・後 後・前 前・前 後・前 前・前 後・後 後・後 前
	○フィジカルアセスメント	1	2	
	○急性期看護論	2	2	
	○小児の健康と看護	1	2	
	○小児看護方法論	1	3	
	○基礎看護実習Ⅱ	2	2	
	○小児看護実践論	1	3	
	○小児看護実習	2	4	

○ 本学の課程における教育の基礎的理解に関する科目等対応表

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目			備考
科目	各科目に含める必要事項	授業科目 ○は教免必修科目	単位数	配当年次 開講期	
教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	○教育学概論	2	1	後・前
	・教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)	○教職入門	2	1	後・後
	・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	○教育社会学	2	2	前・前
	・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	○教育心理学	2	2	前・後
	・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	○特別支援教育	1	2	後
	・教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	○教育課程論	2	2	前
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に関する内容	○道徳教育論 ○総合的な学習の時間の指導法 ○特別活動論	2 2 2	3 3 3	前・前 前 前
	・教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	○教育方法学	2	3	後
	・生徒指導の理論及び方法	○生徒指導論	2	2	後・前
	・教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	○教育相談	2	3	前・前
教育実践に関する科目	・養護実習	○養護実習指導 ○養護実習Ⅰ ○養護実習Ⅱ	1 1 3	4 4 4	前・前 前・後 後・前
	・教職実践演習	○教職実践演習 (養護教諭)	2	4	後

※ 教育実践に関する科目 (養護実習指導、養護実習Ⅰ、養護実習Ⅱ、教職実践演習 (養護教諭)) には履修要件が定められている。要件については、13 免許等 (2) 教育職員免許エ (エ) を参照すること。

○ 本学の課程における大学が独自に設定する科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
大学が独自に設定する科目	○地域看護学概論	1	1	後・前	
	○小児看護展開論	1	3	前・後	
	○小児科学	1	2	後・前	
	○災害看護論	1	3	前・前	

○ 本学の課程における日本国憲法，体育，外国語コミュニケーション及び情報機器の操作の科目対応表

免許法施行規則に定める科目区分	左記に対応する開設授業科目				備考
	授業科目 ○印は教免必修科目	単位数	配当年次	開講期	
日本国憲法	○日本国憲法	2	1~4	前・後	
体育	○スポーツ実技 I	1	1	前・前	
	○保健体育理論	2	2	後・後	
外国語コミュニケーション	○英語総合 I	1	1	前・前*	
	○英語総合 II	1	1	前・後*	
情報機器の操作	○ICT リテラシー I	1	1	前・前	
	○統計入門	2	1~4	後・後	